

日本教育の特色 - 隠れたカリキュラム -

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただきましてありがとうございます。

先週のこの時間に、5月21日から24日まで、フィンランドのタンペレで行われた「世界カリキュラム研究会議」に出席したことをお話しましたが、説明不足だったところがありましたので、付け加えさせていただきます。

カリキュラムとは、日本でいう学校でどのようなことを教えるかという教育課程よりは少し広い概念で、どのように教育するかを計画するものです。文科省で決められた最低限やらなければいけないことはありますが、各学校の生徒の実状にあった教育内容を考え、それを修正・変更しながらよりよい内容にするのが、カリキュラムです。

このカリキュラムの中には、隠れたカリキュラムがあります。日本の教育の特色は、教科以外の隠れたカリキュラムにあると思います。

例えば、登下校の指導です。小・中学校の生徒のために、地域の皆様やボランティアの方などが朝早くから交通指導をして下さいます。また、学校に行くと、日直や週番という係があり、学級活動をします。教室を整備したり、黒板を消したり、「起立」「礼」「着席」などのかけ声をかけたりします。それから、給食当番です。みんなのために運び、給仕し、机を並べ替えたりして楽しく食べる、そして後片付けもします。これらをすべて自分たちの力で成し遂げる、素晴らしいことです。

部活動もあります。これは、ほかの国々とは大きく違います。日本では部活動が盛んですが、他の国では学校で部活動という概念はなく、スポーツは主に地域や家庭の中で行います。部活動では、スポーツなどの活動をするだけでなく、そのための道具の準備やグラウンド整備などの整備もします。私は柔道部でしたが、柔道場がなかったので自分たちで畳を敷き、練習中は汗をかくので終わると畳のぞうきがけをしました。このように、部活動では練習に伴ういろいろなことをします。

修学旅行や遠足、これも教科書では得られない素晴らしい影響を子供達に与えます。また、日本の学校ではさまざまな式典が行われます。運動会、入学式、卒業式等ですが、これらの場でも人の話は静かに聴くということなどを勉強します。

日本の学生はとても規律正しいです。これは、おそらく朝礼など集団で校長先生などの話を聴くときに、背筋を正して整列をするからだだと思います。

さらに、学校で行われる掃除です。他の国の子供達は、学校の掃除をあまりしません。業者が行うことが多いからです。日本の子供達も家では掃除をする機会はありませんが、学校ではトイレまで掃除します。

このように、日本の教育の中のカリキュラムには、素晴らしい隠れたカリキュラムがあります。阪神淡路大震災の時は、物品などの略奪が一件もありませんでした。それどころか、知らない者同士が助け合って復興できました。これは、小・中学校で行われている上記のような隠れたカリキュラムがあったからであると、世界の人々から高い評価を受けています。

ですから、カリキュラムを考えるときには、このような観点から隠れたカリキュラムについても考えていただきたいと思います。また、家庭でも、どのような教育がしたいかというカリキュラムを考えるのと同時に、この隠れたカリキュラムを取り入れた教育・しつけを行っていただきたいと思いません。